

縛って縛って。

間

◇登場人物

・西沢

・下地

・さくら

とある高級ペンションの一室。

さくら、手足をロープに縛られ、椅子に座っている。

西沢、さくらの目の前で、地べたにひざまずき、俯いている。

さくら ねえ！ 聞いてんの？

西沢 ……。

さくら おうい！ ……おうい！ おうい、おうい、おうい！

西沢 ……。

さくら、縛られた足で西沢に蹴りを入れる。

西沢、驚いた目でさくらを見つめる。

間

さくら いや、そうなるよ？

西沢 ん？（という顔）

さくら、呆れ気味。

さくら あんたね、私を何だと思ってるの？

西沢 ……人質……。

さくら ……わかってんじゃない。なら、なんなの、さっきからこの扱

いは？

西沢 そんなこと言われても……。

さくら あんたたち誘拐犯にとつて一番重要なことは何だ思ってるわ

け？ 交渉の技術？ よくできた計画？ 強いチームワーク？ いい

え、違うわ……人質よ！ 人質がいなきや仕事になんないんだもの！

つまり、私をもっと大切に扱いなさいよ！

西沢 ……いろいろ要求聞いているじゃん。あんたが暗い部屋に監禁され

るのが嫌って言うから、こんな綺麗なペンション借りたんだしさ。そ

れに、食事だって幕の内弁当3つも食べたろ？

さくら まだまだ足んないわよ！ それに、幕の内弁当は2つしか食べて

ないわよ。

西沢 嘘つけよ。俺たちとあんたの、計3人分買ったのに、全部無くなっ

てるんだよ。

さくら あと一つは、私がいまお腹で温めてるのよ。

西沢 なにをやってるんだよ。

西沢、さくらの服のなかに手を入れ、弁当を取り出す。

さくら、はにかんだ表情。

西沢、弁当を取り出し、

西沢 恥じらってんじゃねえよ！

さくら ……あとでちゃんと返しなさいよ。

西沢 だからあんたはもう食ったる？

さくら いちいち口答えするんじゃないわよ！ 私はね、人質として最低

限の権利を主張してんのよ。

西沢 なにが最低限だよ！ 贅沢言いやがって。

さくら うるさい、このうんこ！

間

西沢、戦意喪失し、椅子に腰かけ携帯電話を操作しだす。

さくら ねえ。まだ相棒さんからは連絡ないわけ？

西沢 うん。

さくら まったく……せっかくこんないいペンションなのにさ、縛られ

たまんまじやなんにも楽しめないじゃない。

西沢 べつに、楽しむ必要ないでしょ。

さくら だからさ！ ……私がいるからお金を要求できるんでしようが。

西沢 そうだけど……。

間

さくら (不躰に) ちよっと……。

西沢、さくらの方を振り向く。

西沢 なに？

さくら この紐、ほどこいてくれない？

西沢 なんで？

さくら トイレ。ずっと我慢してるの。

西沢 そうか。

携帯電話に目を戻す西沢。

さくら ちよっと。ほどこいてったら。

さくらを振り向く西沢。

西沢 なんで？

さくら だからトイレに行きたいんだって。

西沢 ああ。

西沢、立ち上がりさくらのもとに近寄り、紐をほどこく。

西沢 どうぞ。

さくら どうも。

立ち上がりトイレへと向かうさくら。

さくらの後をついていこうとする西沢。

さくら、急に立ち止まり、西沢を振り向く。

さくら ちよつと。

西沢 なに？

さくら まさかトイレまで見張るつもり？

西沢 ……。

さくら 絶対イヤだから。

西沢 ……え？ 大きい方？

さくら そういう問題じゃないでしょ！

なぜ怒鳴られたのか分からず、首を傾げる西沢。

西沢 はやくしろよ。

さくら ……。

さくらはトイレの中に入り、西沢は椅子に座り目をつぶる。

突然、西沢の携帯電話が鳴り、通話を始める。

西沢 もしもし、下地君？——（弾んだ声で）そう。やった！——う

ん。こっちは変わりない。——いま？

一瞬トイレに目をやり、すぐに戻す。

西沢 ……いまは、ウンコしてる。

さくらの声 ウンコじゃない（叫び）。

トイレの方を見つめる。

西沢 ……ウンコじゃないって。…うん、わかった。じゃあ。

電話を切った後、椅子の上に立ち、何度もガッツポーズを作る。
トイレから出てくるさくら。西沢に気付き、

さくら なに？ 気持ち悪い。

西沢 ……身代金。

さくら もらったの？

黙ってうなづく西沢。

さくら 本当に？

西沢 本当に。すごい、一億だぞ！

さくら どうやって？

西沢 さあ。あいつに聞けよ。

真顔とにやけを繰り返す西沢。

それを怪訝な目で見つめるさくら。

さくら じゃあ、これで私は解放されるんでしょう？

西沢 え？ もうちよつと待ってて。

さくら えー？ いいじゃん、帰しても。

西沢 あいつが帰ってきてから。

西沢、椅子に座り直す。

部屋の隅にあるビニール袋を突然指差すさくら。

さくら あのさ・・・、あれ食べてもいい？ ピーナッツパン。

西沢 さつき幕の内弁当3つも食ったろ！

さくら だから2つよ！

西沢 あのパンは、あんたが俺たちの分まで弁当食っちゃったから買ってきたの。だからもう、あんたにはあげない。

さくら じゃあ、幕の内返しなさいよ。

西沢 なんで？

さくら 弁当の代わりに買ってきたんでしょ？ なら、その幕の内弁当は食べないってことでしょ？ そうでしょ！

西沢、幕の内弁当を見つめる。

間

さくら それに、一億も入るんでしょ？ パンも幕の内弁当もいくらでも買えるわよ。

西沢 ……わかったよ。じゃあ、パンな。

さくら えー？

西沢 おい！

さくら はい。

西沢、立ち上がり、ビニール袋からパンを2つ取り出し、一つをさくらに渡す。

さくら (受け取り) もう一人の人が来たら、すぐ帰れるの？

西沢 (食べはじめ) わかんないけど・・・多分。

さくら そう。じゃあ、もう帰る準備しとこ。

西沢 荷物なんてないだろ。

さくら 何言ってるの？ いっぱい転がってるじゃない。

西沢 え？

さくらは、ティッシュの箱を手に取り、

さくら これとか。

西沢 ……ペンションって、備品持ち帰りオッケーなの？

さくら、お茶パックを手に取り、

さくら これも。

さくら、部屋にある備品を次々とパンが入っていたビニール袋

に詰める。

それを呆然と見ている西沢。

さくら …… あんたね、ビニールじゃなくて、ちゃんとマイバッグ持ち

なさいよ。ない時はポケットに詰め込みなさい。

西沢、首をかしげながらトイレに入るが、すぐに出てくる。

西沢 ちょっと……。

さくら、備品の詰め込みに忙しそう。迷惑そうに西沢を見る。

さくら ん？

西沢 さっき流してないだろ。

さくら うそ？ 流れてない？

黙ってうなづく西沢。

さくら あ、ごめん。いつもの癖で……うっかり。

西沢 何がうっかりだよ。

西沢は再びトイレに入るが、またしてもすぐに出てくる。

西沢 やっぱりうんこじゃないか。

さくら いいじゃないどっちだって！

トイレに入る西沢。

さくら、備品の収集を止め、パンにかじり付く。

洗浄音 (SE)

西沢、トイレから出てくる。

さくら 全部使っていないよね？

西沢 ……なにが？

さくら、トイレにダッシュで入っていく。

西沢、座ってパンを食べる。

トイレから出てきたさくらの手には、トイレットペーパーが。

西沢 それももらうの？

さくら 当たり前でしょ。

西沢 ……ただのせこいおばさんじゃないか。

さくら、トイレットペーパーをビニールに入れ、座ってパンを

食べる。

間

さくら、西沢の耳元で急に大声を上げる。

さくら パン！

西沢、驚いて、持っていたパンを落としそうになる。

西沢 なんだよ！

さくら パンだから。

西沢 危うく落とすところだったる！

さくら ……あんた、三秒ルールって知ってる？

西沢 え？ うん…うん？

さくら、西沢の腕を掴んで揺らす。

西沢 なにすんだよ！

さくら 落として三秒までならセーフ。逆に言えば、三秒以上はアウトなのよ！

争う二人。

西沢の手から、パンが落ちる。

さくら（早口で） 1、2、3！ はい！ 三秒経った！ もう食えない！

さくら、落ちたパンを急いで拾い上げる。

さくら バカ！

西沢 ちよっと！ 返せよ！

さくら なにあんた。落ちたものを拾って食べるわけ？ せこつ！

西沢 あんたに言われたくないよ！

さくら いいよ、じゃあ！ 洗ってくるよ！

西沢 おい！ なにすんだよ！ 洗うってなんだよ！

さくら、キッチンまで走り、パンの袋に水を入れて戻ってくる

（パンは水浸し）。

西沢 ……うそでしょ。

さくら ほら、キレイになった。

西沢キレイになったとしても、これじゃ食えないだろ。

さくら バカじゃないの！

西沢 なんで怒ってるんだよ。

さくら いい？ このままパンを水に浸して放置しておくでしょ？ したら…どうなってると思う。

西沢（困惑）……わかりません。

さくら パンパンになってるの。

西沢 ……はあ。

さくら これ、どういう意味か分かる？

西沢（ますます困惑）わかりません。

さくら 1つのパンが、2つ分になって、お腹いっぱいになるの。

西沢（呆然）……ちよっとわかんないです。

さくら、西沢に近づき頭をなでる。

さくら また一つ、大人になったね。・・・ただ、こうして食べると、味も何もあつたもんじやないんだけど、そこは見ないふりね。

西沢 (弱々しく) 差し上げます。

さくら (嬉しそう) 本当に？

西沢 正気かよ？

さくら 持ってて。

さくら、西沢に水入りのパンを手渡す。

西沢 (受け取り) えー？

さくら、テレビに向かって歩きだす。テレビに手をかけ、持ちあげようとする。

西沢 テレビはダメだろ！

さくら ・・・やっぱり？

黙ってうなづく西沢。

西沢のそばに来て座り込むさくら。

さくら ・・・テレビが欲しいんや。

西沢 ダメに決まってるんだろ！ なんて関西弁なんだよ。

さくら ちつくしょう・・・。

西沢 ・・・なあ、あんたの旦那、本当に金持ちなのか？

さくら なんで？

西沢 だって、せこいし。

さくら 生きる知恵だよ。

西沢 やり過ぎだろ。

さくら そんなことないって。いいじゃない。セコ。

西沢 エコみたいに言うな。

さくら、西沢の傍に座る。

さくら ・・・何に使うか決めてるの？

西沢 ・・・何が？

さくら お金。

西沢 ・・・いや、まだ決めてない。

さくら 決めてないの？

無言でうなづく西沢。

さくら 大した目的もないのに、よくも誘拐なんかしたよね。

はにかむ西沢。

西沢 ・・・まあね。

さくら 褒めてないからね。

はにかんだままの西沢。

西沢 でも、実感がわかないんだよね、1億なんて。

さくら たしかにそうかもね。いきなりそんな大金。

西沢 ……あっ、ETC付けようかな。

さくら 小さっ！

西沢 だからあんたが言うなよ！

さくら もっとさ、良い車乗るとか家を建てるとか、そういう野望はないわけ？

西沢 ……あんまり。

座り直すさくら。

さくら あんた今いくつ？

西沢 二十四。

さくら 仕事は？

西沢 ……コンビニ。

さくら バイト？

黙ってうなづく西沢。

さくら 就職はしないの？

西沢 ……してたけど、辞めた。

さくら 仕事してたんだ。どこで？

西沢 証券会社。

さくら へえー、すごいじゃん。なんでやめたの？

西沢、俯き、黙る。

さくら 言えない理由？

西沢 ……いや…これが本当にやりたかったことなのかな、って。

さくら ……それでやめちゃったんだ。

西沢、うなづく。

さくら どれくらいで辞めたの？

西沢 ……一年とちよつと。親にも親戚にもボロクソ言われたよ。せつかくいい会社入ったのに、って。

さくら ……。

西沢 そしていまや誘拐犯だもんな。もう、一生…親にも親戚にも会えないよ。

西沢、自虐的に笑う。

さくら で、あなたのやりたかったことってのは、何なの？

西沢 ……俺はただ、良い会社入って、良い給料もらえればいいと思っ
てた。

さくら 叶ってるじゃない。

西沢 でも、実際は違ったんだよ。俺全然仕事ができなくてさ、いつも上司に叱られて、同期には置いていかれて・・・自分がむなしくてさ。
さくら それで、辞めちゃった。

西沢、うなづく。

西沢 俺さ、前の会社で、二〇〇億の損失出しちゃったんだ。今回の身代

金の二〇〇倍だぞ？ 笑っちゃうよな。

さくら・・・で、どうすんの？ これから。

西沢・・・わかんない。やりたいこととか、なにもわかんない。

さくら このまま続けたら？

西沢 え？

さくら あんたはさ、こんな風に誘拐とか強盗とか、そういう風に食って

いくのがお似合いなんじゃないの？

西沢 えー？ 嫌だよ。それって犯罪だろ？

さくら 事実やってんでしようが。

西沢 はい。

西沢、しょんぼり。

さくら あんた、私に似てるんだよね。

西沢 やめてくれよ！

さくら なんでよ！

西沢 なんてでも！

不服そうな顔のさくら。

さくら とにかく、あんたは今のまま頑張ってみなさいよ。

西沢・・・どう頑張れっていうんだよ・・・

さくら あんたね、一億円もあるんだよ。なんだってできるでしょうが。

西沢・・・例えば？

さくら たまには自分で考えなさいよ。そんなんだから自分のやりたいことのひとつも見つけられないんだよ。

西沢・・・

さくら どうせ、この誘拐も相手の人におんぶに抱っこでしょ？ あんたはいつまでも、そうやって人の言いなりになって、それで人生楽しいの？ 自分の人生を生きてるって言えるの？

西沢・・・

さくら・・・って言っても、仕方ないか。いままでそうやって生きてきたんだもんね。私が説教したところでどうにもならないよね。

西沢・・・

さくら・・・私、帰るね。

さくら、立ち上がり、荷物を手にする。

西沢、さくらの横で力なくうなだれている。

さくら、テレビを手に取り、ゆっくり部屋を出ていこうとする。

西沢、立ち上がり、さくらのあとをついていく。

さくら、ドアの近くに來たらダッシュで部屋を出る。
西沢、ダッシュで後を追ひ、すぐにさくらを部屋に連れ戻す。

西沢 いけません！

さくら うそーん。

さくら、西沢に懇願する視線を送る。

西沢 隙見せたらこうだから・・・。

さくら、西沢の隣に腰を下ろす。

西沢 あのさ・・・。

さくら ん？

西沢、さくらのパンを指差す。

西沢 ……食わないの？

さくら まだまだ。

西沢 もういいんじゃない？

さくら 待ってる間に、お風呂入ってくる。

西沢 もうフニヤフニヤだよ。

さくら、お風呂場（トイレ）に消える。

しばらくして、身代金が入ったバッグを抱え、下地が部屋に入ってくる。

下地 ただいま。

西沢 おお！ やったな。大成功。

下地 ああ。

バッグをベッドの上に置く下地。パンに気づき、

下地 え？ これパン？

西沢 あ、でもこれ一応、人質の・・・。

下地 あ、そう。・・・食っていいかな？ 今いないし。

西沢 食うのか！

下地 別に大丈夫だよ。俺が買ってきたんだし。

西沢 そういう問題じゃないんだけど。・・・でも、フニヤフニヤだぞ。

下地 大丈夫、大丈夫。腹に入っちゃえばそういうの気にしないから。全然大丈夫。

下地、パンの袋を開くが、すぐに閉める。

下地 ……大丈夫じゃなくね？

西沢 やっぱフニヤフニヤ？

下地 じゃなくて・・・人質じゃないの、ヤバくね？

西沢 そう？

下地 そうだよ！ 人質に逃げられて警察にでも行かれたら、俺たち終わ
りじゃね？

西沢 ……あ、そうか！

下地 「そうか！」じゃなくね？ ヤバくね？

下地は部屋中をうろうろと歩きまわり、頭を掻きむしる。

西沢 あ、でも、今は風呂に入ってるだけだよ。

下地 あ、そうなの。良かったー。

下地、パンの袋を開けるが、すぐに閉める。

下地 ……遅くね？

西沢 何が。

下地 言うの遅くね？

西沢 何を。

下地 「人質いま風呂に入ってるよ」って、言うの遅くね？

西沢 そう？

下地 そうだよ！ あせったー！

西沢 なんかスマン。

下地 そういうのはすぐ言って。俺が帰ってきたら早めに言って。

西沢 早めに？

下地 そう！ 大事なことは早めに！

西沢 わかった。

下地 メモっとけ。

西沢 はい！

手帳を取り出し、書き込む西沢

西沢 (たどたどしく) ヒトジチ、イマフロニ――

下地 (さえぎって) それ限定じゃねーぞ！

西沢 え？

下地 フレーズは状況次第だからな！

西沢 フレーズハジヨウキョウシダイ。

下地、パンを食べ始める。

下地 フニヤフニヤ！

西沢 (必死な感じで) これ最初に言ったよね？ ね？ ね、ね？

下地 (面倒くさそうに) 聞いた聞いた。

西沢 ねえ、これ正解？ それフニヤフニヤ、って最初で言うの正解？

下地 なにこいつ……。

手帳にメモを取る西沢。

西沢 ソレフニヤフニヤ、ハ、サイシヨ……。

下地 フレーズは状況次第！

西沢 フレーズハジヨウキョウシダイ。

下地は再びパンを食べ始める。

西沢 あのさ、ちょっと謝らなきゃいけないことがあって……。

下地 どうした？　なんかあったのか？

西沢 俺、お前に嘘ついちゃったんだよ。

下地 え？　何？　どうしたんだ？

西沢 ……人質、やっぱりさつきウンコだった。

下地、箸を置く。

下地 ……おい。

西沢 はい。

下地 俺、今、食事中。

西沢、メモを取ろうとして、

西沢 オレ、イマ、シヨク——

下地 書くな！

西沢 ……。

下地 今言うなよ。

西沢 早めに。

下地 おい！

西沢 はい。

下地 大事なことは！　早めに。

西沢 はい。

下地 これをメモ！

西沢 はい！

西沢、メモ帳に書き込む。

下地、パンを勢いよく完食する。と、急に気分が悪そうになる。

西沢 どうした？　なんかあったのか？

下地 え？

西沢 ……なんか、青い顔してるから。

下地 ああ……お腹痛いんだよ。

西沢 大丈夫かよ。

下地 多分。しばらく籠もるわ。

下地、トイレに入ろうとするが、鍵がかかっていて開かない。

下地 あれ？

西沢 入浴中。

下地 人質？

西沢 うん。

下地 マジかよ。

西沢 さつき言ったよね？　ね？

下地 ……ロビーのトイレでやってくる。

と、部屋を出て行く。しかし、すぐに戻ってくる。

下地 (声のトーンをあげて) 入浴中？

西沢 なんだよいきなり。

下地 (やたらとにやけた顔で) あの風呂入ってるの？ やべえ。

西沢 お前そういう趣味だったか？

下地 やばい！ 俺のなかで、痛みと欲望が闘ってる。

西沢 早く下行って出してこいよ。

下地 (ものすごい高いテンションで) 終わるまで待つ！

西沢 誰だよお前。

トイレのドアにへばりつき、耳をそばだてる下地。

西沢、ベッドの上のバッグを顎で指しながら、

西沢 この金でそういうお店行って来たら？

下地 バカかお前は！

西沢 なんだよ。

下地 俺はリアルを求めているんだよ！

西沢 ……全然わかんないよ。

下地、聞き耳を立てている。

西沢、バッグのファスナーを開け、中を確かめる。

西沢 スゲーな。どうやったんだよ、これ。

下地、振り向きもせずドアにへばり付いている。

西沢 なあ！

下地、不服な顔で、首から上だけ振り向く。

西沢 どうやって受け取ったんだよ。

下地 そんなにどーでもいいじゃねーか。

西沢 いいだろ教えても。

下地 ……あのな——

突然トイレのドアが開きバランスを崩した下地は、中から出て

きたさくらに抱きつくような格好となる。

さくらは、シャンプー、リンス、バスタオルを手に持っている。

さくら きゃっ！

下地 あっ、すいません。

二人、離れる。

さくら 大丈夫？

下地 え？ うん。

照れる下地。と、怪訝な顔で鼻をおさえる。
さくら、自分の服をつまみ、

さくら 十日目。

下地 やっぱり！

西沢 お風呂いつ以来？

さくら 先々週。

西沢 汚っ！

下地、さくらを両手で指差しながら、

下地 なお良い！

西沢 何が！

下地、にやけた顔でトイレに入っていく。

下地の声 ナイス熟女！

さくら、トイレを指しながら、

さくら どうしたの？

西沢 ……いろいろあったみたい。

さくら ああ……。

シャンプーとリンス、バスタオルをビニールに詰めるさくら。

西沢 抜け目ないな。

さくら ん？ なにが？

西沢 いや。

さくら、ベッドの上のバッグに気づき、近づく。

さくら 何これ？

西沢 1億円。

さくら (愛らしい声で) いやん。

西沢 なんだよ。

さくら 興奮しちやって……あのさ、ちょっと思ったんだけど。

西沢 ん？

さくら あんた、いつも誰かの言いなりじゃない。

西沢 別にいつもってわけじゃ……。

さくら それって、ドMってことなんじゃないの？

西沢 そうでもないと思うけど。

さくら どう？ 試してみる？

西沢 何を？

さくら 私を。

西沢 嫌だよ！

さくら 私、ドSなの。

西沢 だから試さないって！

さくら うるさい！ このブタ！

西沢 (弱々しく) はい。

さくら だまってうつぶせになりなさい！

西沢 はい。

西沢、うつぶせに寝そべる。

さくら よーし、良い子よ。

と、先ほどまで自分が縛られていたロープで、西沢の両手足を縛る。

さくら どう？ 今の気持ちは。

西沢 なんだか、とつても悔しいです。

さくら そう。じつとしてね。

さくら、自分の荷物と一億円の入ったバッグを持ち、部屋を出ていく。

西沢、しばらくじつとしているが、さくらが逃げたことに気づき立ち上がるうとする。が、立てない。

西沢 ああー！（叫ぶ）

西沢、トイレの前までゴロゴロと転がり、ドアを強く蹴る。

下地の声 (のんきな声で) 入ってまーす。

西沢 大変だ！

と、再びドアを強く蹴る。

下地の声 だから、入ってまーす。

西沢 おい！

と、ドアを強く蹴る。

下地の声 あ、いま出てます。

西沢 汚いな！

下地の声 なんだよ！

西沢 大変だ！ 人質が逃げた！

下地の声 こっちだって大変なんだよ。紙がないんだよ！・・・え？ 逃げた？

西沢 逃げた！ お金と一緒に！

下地の声 おい！ ティッシュ取ってくれ！

西沢 ティッシュも持ってた。

下地の声 なんて？

西沢 ケツなんか拭くなよ。

下地の声 いや、それは無理だった！

西沢 早く出て来いって！

下地の声 お前追いかけるよ。

西沢 俺いま動けないんだよ。

下地の声 なんでだよ！

西沢 シャワーで流せ！

下地の声 ナイス！

西沢 早く！

下地の声 ちょっと待て！

シャワーの音。しばらくして止む。

下地の声 タオルがない！

西沢 我慢！

下地、しばらくしてトイレから出てくる。縛られている西沢に
気づき、

下地 どうしたんだ！

西沢 ヤラれた。

下地 チクショウ！ なんでお前だけ……。

西沢 そこじゃないだろ！ どうする？

下地、西沢のロープをほどく。

下地 どうするって、逃げるしかないだろ。

西沢 逃げるのか？

下地 もしあの女が通報でもしてたらどうするんだよ。すぐに警察がやっ
てくるぞ。

西沢 あ、そうか。

下地 早く逃げるぞ。

下地、部屋を出ていこうとする。

西沢 あのさ……。

下地、立ち止まり西沢を振り返る。

西沢 ごめん。俺のせいで一億円が……。

下地 それはいいから逃げるぞ。

西沢 ずっとお前におんぶに抱っこで、おまけにミスして人質もお金もど
つかいっちゃやし、やっぱ俺にはこの道向いてないわ。

下地 いいか。誘拐犯なんてな、向いてるか向いてないかじゃなくて、や
るかやらないかなんだよ。こんな楽して稼げることなんてないぞ。

西沢 ……。

下地 いいんだよ、お前は心配しなくて。今日はたまたま運が悪かっただ
けだ。

西沢 でも……。

下地 大丈夫だって。次の相手もう決めてるから。お前は俺の言う通りに

やってくればいいんだよ。それだけ。

西沢 ……わかった。

下地 逃げるぞ。

下地、部屋を出ようとする。

西沢 あのみ。

下地 なに？

と、振り向く。

西沢 ……俺ってMなのかな。

下地 ……そうだな。

下地、部屋を出ていく。

その後を追うように、西沢も去る。

間

突然さくらが部屋に戻ってくる。

テレビを両手で抱え、嬉しさのあまり笑いが抑えきれなくなつたまま部屋を去る。

照明 F・O
了